

『広々とした授業』 ～ 『隙間を埋める懸け橋』 ～

2025 年 10 月 18 日（土）午前中 東久留米市立第 2 小学校での『がん教育』の授業に赴いた。【2 人に 1 人が がんになる時代を迎え、文部科学省は 新学習指導要領に『がん教育』を明記し、2021 年度から中学校、高校での授業を本格化させている。】と謳われている。東久留米市立第 2 小学校での『がん教育推進』授業は、2020 年 2 月 20 日 出版された『がん哲学のレッスン ～ 教室で <いのち>と向き合う ～』（かもがわ出版）にも掲載されている（画像）。

今回、体育館での講義で、6 年生 106 人、保護者、そして 4 年生の生徒もご両親と参加されていた。生徒から真摯な複数の質問もあり、筆者は全力で答えた。生徒の眼差しには、大いに感動した。

【『広々とした学問』とは、『学問には限りがないことをよく知っていて、新しいことにも自分の知らないことにも謙虚で、常に前に向かって努力しているイメージ』

1) 世界の動向を見極めつつ歴史を通して今を見通せるようになる。

2) 俯瞰的に 理を理解し『理念を持って現実に向かい、現実の中に理念』を問う人材となる。

3) 複眼の思考を持ち、視野狭窄にならず、教養を深め、時代を読む『具眼の士』の種蒔く人材となる。】が『教育の真髄』であると語った。

【『考え深げな黙想 と 真摯な魂 と 風貌こそ、現代に求められる『教育の心得』】&『がん(生物学) + 哲学(人間学) = がん教育』】まさに、『隙間を埋める = 懸け橋となる授業の大切』を実感した。

その後、『東久留米駅→池袋駅→市ヶ谷駅』から【がん哲学外来『市ヶ谷だいじょうぶ！カフェ』（代表者：田口謙治氏 担当者：田口桂子氏）（東京ゴスペルハウス内に於いて）】での講演に向かった（画像）。多数の参加者で質問も寄せられた。その後、カフェの開催中、筆者は、別室で 4 組の個人面談の時が与えられた。大変有意義な充実した貴重な時となった。

2020年2月 刊行

中学・高校で始まる
「がん教育」を
深める必読書。

がん哲学の レッスン

教室で「いのち」と向きあう

樋野興夫



樋野興夫 (ひの・おきお)

順天堂大学 名誉教授、順天堂大学医学部
病理・腫瘍学客員教授、新渡戸稲造記念
センター長。がん患者の不安や苦しみと向
きあい、対話を通して支援する「がん哲学
外来」を創設。全国約170カ所でがん哲学
外来・メディカルカフェが開かれている。



「がん教育」が2021年度以降、全国の中学、高校
で一斉に始まるのを前に、「がん哲学」を提唱して
多くのがん患者と対話してきた樋野医師が、がん教
育でぜひ伝えてほしい要点をつづる。がん細胞と人間社会の不思議
な共通点や、患者への寄り添い方、自分らしく生きる心構えを説く。

- 第1章 がん教育はなぜ必要か。「がんの状況／予防／早期発見」
 - 第2章 がん細胞の不思議。「がんとは／細胞と癌／治療法」
 - 第3章 大切な人に寄り添う。「患者への理解と共生」
 - 第4章 自分らしく生きる。「患者の生活の質」
 - 第5章 生と死を見つめる。「患者の生活と質／緩和ケア」
 - 第6章 教室で語りあう。「小学校でのがん教育授業を収録」
- がんに向きあう3人に聞く。 斎藤孝典さん 渡辺さとしさん 渡辺愛知さん

四六判・192頁 定価 本体1500円＋税

かもがわ出版
http://www.kamogawa.co.jp/

〒602-8119 京都市上京区堀川出水西入
TEL: 075-432-2868 FAX: 075-432-2869

発注・出荷に関するお問い合わせは 〒601-8122 京都市南区上鳥羽北堀ノ本町18
かもがわ出版流通センターまで TEL: 075-672-0034

注 文 書	部 数	冊	条 件 ・ 新 刊 委 託	京都・かもがわ出版 注文 FAX: 075-672-0035		定 価 1500円＋税
				がん哲学のレッスン 教室で《いのち》と向きあう 樋野興夫 ●著		
				ISBN978-4-7803-1077-1 C0037 ¥1500E		